

令和5年度第7回 感染症発生動向調査協議会
議事要旨

1 日 時 令和5年10月18日(水) 14:00～

2 場 所 岐阜大学医学部本館 1階 小会議室(岐阜市柳戸1-1)

3 出席者

委 員 : 馬場 尚志(岐阜大学医学部附属病院 生体支援センター センター長)

大西 秀典(岐阜大学大学院医学系研究科 小児科学 教授)

澤田 明 (岐阜大学医学部附属病院 眼科 臨床准教授)

加藤 達雄(国立病院機構長良医療センター 副院長)

石山 俊次(石山泌尿器科皮膚科)

事 務 局 : 可知 正行(感染症対策推進課 主任技師)

今尾 幸穂(保健環境研究所 疫学情報部長)

岡 隆史(保健環境研究所 主任専門研究員)

4 議 題 (進行:馬場委員)

(1) 前月の感染症発生動向について

(2) 検討すべき課題について

(3) 情報提供(月番委員専門分野から)

(4) その他(感染症対策推進課から)

5 議事要旨

【前月の感染症発生動向について】

- ・事務局からの説明は資料のとおり。
- ・月番委員のコメントについては資料のとおり。

【検討すべき課題について】

○インフルエンザ流行について

(事務局から)

- ・直近のデータでは既に患者報告数が注意報レベルに達した地域もあり、今後さらに増加すると考えられます。引続き発生動向を注視し、逐次状況を「感染症かわら版」等でお知らせしていきます。

(委員から)

- ・全国的には既に警報レベルに達した都道府県もあり、このペースだと今後さらに増加して年内に流行のピークを迎える可能性もあります。
- ・数か月前は新型コロナウイルス感染症の報告数が多かったが、数週間前に逆転して現在はインフルエンザの方が多数を占めています。感染症の流行が連続して起きているので、引続き注意する必要があると思います。